

「心と心」私たちの原点を忘れない



明日を想う  
健祥会グループ

# 健祥会だより 2021

KENSHOKAI DAYORI vol.46



感謝を未来に  
歴史を明日へ





健祥会グループ 理事長 中村 太一

# 社会にとつて 必要不可欠な仕事 その誇りを胸に 地域社会に 大きな安心を描いて

「コロナ」に明け暮れた2020年、世界中の人々の記憶に深く刻まれるであろうこの年は、健祥会グループにとっては創立40年の節目の年でした。周年記念行事は中止を決断。とにかく利用者様の安全を第一に、職員には行動の自制を促し、施設行事も規模を縮小したり、工夫を凝らして実施しました。ご家族の面会もリモートでお願いしたり、状況を見て再開したり、高い緊張感を絶やさず、細心の注意を払いながら施設運営にあたってきました。利用者様、ご家族、地域の皆様のご協力への感謝とともに、困難の中、頑張ってくれた職員にも感謝したいと思います。

今、人々は叡智の限りを尽くしてウイルスと闘っています。ある程度の収束を見たとしても、おそらく私たちの暮らしが元に戻ることはないでしょう。私たちは感染症に備えながら、ニューノーマルを生きていかねばなりません。

一方でこの度のパンデミックは、いのちの尊さ、家族の素晴らしさへの気づきをもたら

し、医療・介護そして教育・保育が社会を支える必要不可欠のものであることを強く認識させてくれました。エッセンシャルワーカーとして職員のモチベーションが高まり、若手職員が自発的にプロジェクトを立ち上げたり、専門部会などでも丁寧な議論ができたり、内なる充実を見た思いです。

新型コロナ対策で歳出は大きく膨らみ、税収の下振れも見込まれる中、国家の財政運営が厳しさを増すことは必至です。75歳以上の医療費負担増や児童手当の特例給付の打ち切りなど、社会保障への切り込みも行われています。そして今年は今介護報酬改定の年。基本報酬は微増となりましたが、認知症対応や看取りの推進、リハビリ・口腔・栄養の強化、科学的介護の取り組みなどを評価する内容が多く盛り込まれており、私たち事業者にとってはサービスの質の向上と業務の効率化が至上命題。ICTの活用や業務改革・経営改革をさらに推し進めていかねばなりません。

理事長挨拶

質の高いサービスの鍵となるのは人財の質です。よい人財に選ばれる職場であるために、数年来、ワークライフバランスへの取り組みや健康経営を推進するとともに、キャリアパスを明示し、誰もが未来を描き、働きがいを感じながら働き続けることのできる環境づくりをすすめてきました。各機関から取得した様々な認証がその成果を評価してくれています。

また今後、コロナ禍で起こるであろう産業構造の変化を見据え、他産業からの人財流入を促すためにも、さらなる処遇改善と働きやすくやりのある職場づくりに取り組んでまいります。

創立時から、女性の活躍が顕著だった当グループにはダイバーシティというDNAが脈々と息づいています。制度創設時から意欲的に迎え入れてきたEPA人財も、そして技能実習生や特定技能資格での人財も、頼もしい戦力となってくれています。人種、国籍、性別、年齢、障がいの有無、働き方などすべてを超えて、職員一人ひとりの個性を

尊重し、このDNAを大切に、さらに進化させていきたいと考えます。

「福祉は人 人は心」と定めた会是、「心と心」と謳った理念、この原点の上に拠って立ち、「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」という不変の行動指針を職員一人ひとりが常に自らに問い、成長することで、組織は強くたくましくなり、新たな挑戦、さらなる進化が実現すると確信します。

コロナ禍は、グローバル世界の様々なシステムの脆弱さを露呈させ、今、人の価値観は、目の利益・快適性・利便性から、健康・安心安全・持続可能性・社会扶助へとシフトしています。そんな中、私たちの事業は未来永劫、社会にとって必要不可欠。デフレになろうと、自然災害に見舞われようと、AIがめざましい進展を遂げようと、医療・福祉、教育・保育だけは、「人のための人の仕事」として不滅です。その誇りを胸に、地域社会に大きな安心を描くために、今年も一日一日を大切に歩んでまいります。

KENSHOKAI GROUP

令和三年訓

「心と心」私たちの原点を忘れない  
心とは相手を慮る心  
つまり想像力、そして謙虚さ

明日を想う  
健祥会グループ

コロナ禍で世界の平穏が大きく揺らいでいる今こそ、健祥会グループの福祉の原点に立ち還り、人としての資質を大切に育む一年にしてほしいとの願いを込めました。

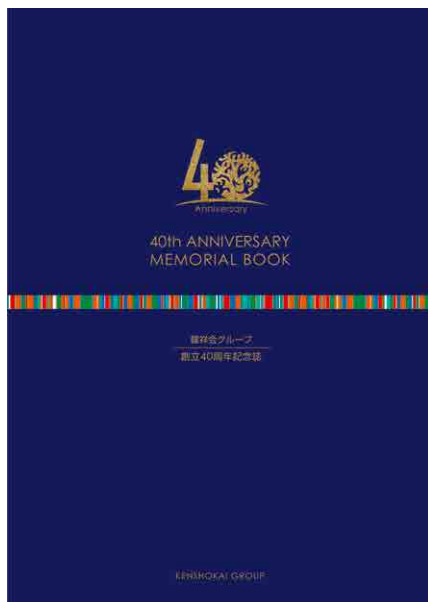


# 感謝を未来へ 創立40周年記念誌発刊

創立40周年を迎えた2020年12月19日、健祥会グループは記念誌を発刊しました。

創立からの30年間をダイジェストで振り返るとともに、30年からこれまでの10年間の歩みとさまざまな新しい取り組みをまとめたA4版64ページの冊子です。

40年が凝縮されたこの一冊には、すべての職員が歴史の重みを知り、原点の志を共有することで、よりよい組織づくり・サービスづくり・地域づくりに取り組んでいきますようにとの願いと、利用者様と地域の皆様、関係機関の皆様への感謝、そして40年の知見を未来につないでいこうという決意が込められています。

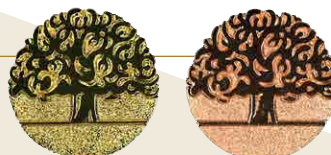


## 明日を想う

「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する  
「福祉」という言葉のもとに私たちは集い  
一人ひとりの「しあわせ」と  
社会の「ゆたかさ」を求めて歩んでいます。  
ご高齢者には生きる喜びを  
子どもたちには香り高い学びを  
そして地域にはやさしさと安心を。  
誰もが明日、よりよく生きていけますように。  
ひとつの特別養護老人ホーム  
ひとつの保育園からスタートして40年。  
私たちは、先人の労苦に思いを致し  
利用者様、地域の皆様への感謝を新たにしながら  
40年のその先へと歩みつつけます。  
「しあわせ」と「ゆたかさ」にみちた明日を想って。

## グループ章ができました!

創立40周年を記念して初のグループ章が作られました。  
シンボルマーク「明日の木」をデザインしたゴールドとローズゴールドの2種類。  
「心と心」を胸に! 管理職に貸与されます。



# 健祥会だより

## 2021 VOL.46



- 2 社会にとって必要不可欠な仕事  
その誇りを胸に、地域社会に大きな安心を描いて  
健祥会グループ 理事長 中村 太一
- 4 感謝を未来へ～創立40周年記念誌発刊
- 5 健祥会とSDGs
- 6 TOPICS
- 7 人こそ財(たから)! 嬉しい出会いに感謝して  
2020採用レポート
- 8 外国人財は「大事な仲間」  
そして「なくてはならない戦力」
- 9 よい人財に選ばれる職場であるために  
素晴らしい職場環境づくりを
- 10 グループをあげてサービスの質を追求  
～ 私たちの大切な行動指針に沿って
- 11 支え合いつながり合うあたたかな地域でありますように  
2020地域活動報告
- 12 KIRARI WOMANネットワーク 2020活動レポート
- 14 with コロナ not lose to コロナ～2020を忘れない



## 未来を想う～健祥会グループはSDGsとともに



2015年9月、国連総会で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals=SDGs)」は、地球上の誰一人取り残さず、持続可能なよりよい世界をめざすために、2030年までに全世界が達成すべき目標をまとめたものです。「明日を想う」というコーポレートメッセージを掲げて、誰もが支え合い、わかち合う地域づくりをめざす健祥会グループの心は、まさにSDGsの理念そのもの。地域の明日を想い、世界の未来を想い、2030年に向かって取り組みをすすめています。

### 健祥会グループのSDGs

- 1 貧困をなくそう** ユニセフ募金に協力  
使用済み切手を大切に収集  
発展途上国の医療や教育のために
- 2 飢餓をゼロに** 配食サービス  
ご高齢者のご自宅へ昼食を  
安否確認もしっかりと
- 3 すべての人に健康と福祉を** 介護フェスタ開催  
ショッピングセンターで啓蒙活動  
介護にやさしい地域社会へ
- 4 質の高い教育をみんなに** 専門職支援公開講座  
夜間・休日の講座や模擬試験で  
キャリアアップを後押し
- 5 ジェンダー平等を實現しよう** 女性活躍の推進  
働きやすく子育てしやすい職場  
として様々な認証も取得

- 6 安全な水とトイレを世界中に** 節水運動  
グループ全体で使用量を管理  
大切な水の有効利用を心がけて
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに** 太陽光発電の設置  
クリーンエネルギー利用で  
CO<sub>2</sub>の削減を
- 8 働きがいも経済成長も** 高齢者・障がい者雇用  
アクティブシニアも障がい者も  
それぞれの得意を活かして活躍
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう** ICT・ロボットの活用  
最新テクノロジーを活用し  
安心安全な介護サービスを
- 10 人や国の不平等をなくそう** 外国人労働者  
受け入れ総数370名、家族の  
日本語学習や子育ても支援
- 11 住み続けられるまちづくりを** 認知症サポーター養成講座  
認知症への理解を促進  
支え合うあたたかな地域づくりを

- 12 つくる責任 つかう責任** 生ごみ処理機の活用  
堆肥としてリサイクル  
ごみ排出量を削減
- 13 気候変動に具体的な対策を** 屋上緑化  
Co2排出量の削減と  
ヒートアイランド対策を
- 14 海の豊かさを守ろう** 海岸・河川清掃  
施設周辺の海岸・河川を綺麗に  
地域の清掃活動に参加
- 15 陸の豊かさも守ろう** ロードアドプト  
徳島OURロードアドプト事業と  
定期的な清掃活動を実践
- 16 平和と公正をすべての人に** 広島へ千羽鶴  
平和を願う千羽鶴づくり  
利用者様の生きがいづくりに
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう** 地域連携  
美馬市の7法人が連携  
地域のくらしをサポート

## 6施設が節目の周年を迎えて ～井戸を掘った人の労苦を思う

グループ40周年の年、施設でも相次いで節目の周年を迎えました。2月1日上勝町では特別養護老人ホーム健祥会ヒーター、ケアハウス鳩の家が20周年、2月6日には羽ノ浦町でケアハウス健祥会アンダルシアが20周年、グループホーム笑顔毎日が15周年を迎え、それぞれ施設の利用者様・ご家族・来賓の方々・地域の皆様方をお招きして、記念式典が行われました。

その後吉野川市の特別養護老人ホーム水明荘が40周年、美馬市のケアハウス健祥会う

だつが20周年を迎えました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症対策として、水明荘は延期、うだつは入所者の皆様と施設職員だけのお祝い会となりましたが、それでも職員が精一杯の思いを込めて周年を祝いました。

どの施設も、たくさんの方の汗と涙、多くの人の善意に支えられてやっとの思いで誕生し、一所懸命の毎日を刻みながら、雨が大地にしみ入るように地域に根ざしてきました。周年の記念行事はそのことに想い



健祥会グループ発祥の地・吉野川市川島町の水明荘前庭、初代理事長中村輝孝の像

をいたす感謝の印です。いつの日も、先人の労苦と地域の皆様のお支えに感謝しながら歩んでいきたいと思えます。

## とくしま健祥会保育園が 「幼保連携型認定こども園」へ

2021年4月1日、とくしま健祥会保育園は、「保育園」から「幼保連携型認定こども園」へと移行します。保護者の就労を条件とせず、3～5歳児をお預かりする（1号認定）定員枠が設けられるとともに、子育て支援事業として、一時的に保育が必要となったお子様をお預かりする「一時預かり事業」も開始。広い園舎と里山のある園庭、美味しい給食、そして質の高い就学前教育をより多くの皆様にお届けできるように努めます。

これでグループ4園がすべて認



定こども園。これまで以上に4園が連携し、切磋琢磨しながら、いっそう地域の多様なニーズに寄り添い、健祥会グループならではの質の高い教育保育を実践してまいります。



## 健祥会創立40周年記念講演 水野雄仁氏「わたしの野球人生」

2020 1/14(火) 阿南市文化会館

徳島県出身のプロ野球巨人軍投手コーチ 水野雄仁氏をお招きし、水野氏の出身地であり、健祥会グループも多くの事業所を運営する阿南市で講演会を開催しました。

水野さんは、夢を持つことの大切さ、夢に向かって諦めず努力することの大切さをユーモアを交えて語ってください、質問タイムも和やかな雰囲気で大盛り上がり。水野さんの野球と地域への愛情が会場いっぱいにあふれ、会場中が一体となったあたたかなすばらしい講演会でした。

コロナの感染が広がる前に



実施できた、貴重な創立40周年記念事業です。水野さんとお越し下さった皆様、開催にご尽力くださった徳島新聞社と阿南市に厚く御礼申し上げます。

## 小規模多機能ホーム健祥会テルダム開所 新しい選択肢を小松島の皆様に

2020 4/1(水)



ケアハウス健祥会アムスに併設のデイセンターチューリップからの転換を図り、小松島市初となる小規模多機能ホーム健祥会テルダムが開所しました。

小規模多機能ホームは、利用者様の状態や必要に応じて、「通い」を中心に「泊まり」訪問の三つのサービスを組み合わせ、利用いただける在宅介護サービスです。

阿南市の在宅の高齢者や家族の生活や介護に関する様々なご相談に応じ、皆様が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、お手伝いします。

**健祥会ケアプランセンター**  
阿南  
阿南医療センター前に開所  
ケアマネジャー（介護支援専門員）が常駐。阿南市の在宅の高齢者や家族の生活や介護に関する様々なご相談に応じ、皆様が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、お手伝いします。



# 人こそ財(たから)! 嬉しい出会いに感謝して 2020採用レポート

## 健祥会グループ創立40周年の節目の年度 24名の新入職員を迎えました

2020 4/1 (水)

多くの若者が社会への新しい一歩を踏み出す2020年春、世界には新型コロナウイルス感染症の蔓延という大きな困難が押し寄せていました。行動の自粛要請が出され、入社式を中止とする企業も多い中、健祥会グループでは24名の新入職員の人生の節目を祝いたく、規模を縮小し、感染症対策を尽くすことで入社式を挙行しました。

**健祥会グループ  
理事長 中村太一 訓辞**

**守りの姿勢や固定観念を  
打ち砕く  
そんな心構えで!**

今年、健祥会グループは創立40周年。ひとつの特別養護老人ホーム、ひとつの保育園でスタートした当時と比べると規模は格段に大きくなることも、グループ5法人のうち、社会福祉法人健祥会と緑風会は、ガバナンスと財務規律の厳格化、そして地域貢献がより強く求められる特定社会福祉法人となりました。組織は規模が大きくなると、守りに入り、現状に甘んじるきらいがあります。しかし、ディサービス事業を四国ではじめてスタートさせた39年前からこれまでずっと、時代に挑戦し先駆的なサービスをつくってきたように、今後も挑戦を続けなければなりません。規模に甘えず、初心を忘れず、挑

戦し進化していくには、新しい発想、新しい発想が必要で、皆さんが新しい風になつて、守りの姿勢や固定観念を打ち砕いてください。そういう心構えで臨んでください。「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」が私たちの行動指針です。そして共に創る「共創」と競い合う「競争」、前に進む「進化」と深まる「深化」がキーワードです。どうか、高い志とモチベーションを持ち続け、新しい自分・新しい施設・新しいグループの姿を描いていってください。共に頑張りましょう。



## 福祉人としての一步は介護の日から

### 健祥会グループ 令和3年度 職員採用内定式

2020 11/11 (水)

介護の日の11月11日、健祥会グループでは「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」のこの日を、例年、内定式の日としています。コロナ対策としてリモートで開催する企業も多い中、グループではしっかりと対策を講じた上で、令和3年度採用者の内定者27名を迎え、顔を合わせての内定式を行いました。

**健祥会グループ  
業務執行理事 中村晃子  
歓迎の挨拶**

**エッセンシャルワーカー  
としての自覚と誇りを**

コロナ禍の中、社会にとって必要不可欠な仕事に携わる人々がエッセンシャルワーカーと呼ばれ、感謝の対象となりました。一方で、他業界では今年春には内定の取り消しがあつたり、大企業が来春の採用を中止したりしていますが、医療福祉の仕事は、いち暮らしを支えるためになくしてはならない仕事です。皆さんの選択に心から敬意と感謝を表します。そしてどうか、そういう仕事に携わるんだという自覚と誇りを持ってください。

数カ月経てば大切な仲間となる皆さんに、3つをお願いをします。  
①最低一紙新聞を読むことを習慣とし、問題意識を持ち、視野を広げる  
②福祉人として、Aーにはない、

やさしさや共感の心を育み、人間力を磨く  
③コロナの制約の中であつても染しみたいこと頑張りたいことを前向きに探して、残りの学生生活を充実したものにする  
この3つです。

社会は今、変革の中にあります。コロナを契機にICT化もさらに加速しています。健祥会グループは今年、40周年を迎えましたが、現状にとどまることなく、進化を続けています。皆さんもどうか3つの実践を積んで、柔軟性と対応力を身につけてください。来春さらに魅力的になった皆さんに会えることを楽しみにしています。

コロナで世界は大きく変わりましたが、この先何があるとも地域社会の安心を守るために、若い力というしよに困難を切り拓いてまいります。





# Global workplace

## 外国人財は「大事な仲間」 そして「なくてはならない戦力」

健祥会グループでは、EPA（経済連携協定）による介護人材交流の制度開始の2008年から、介護福祉士候補者の受け入れを開始。これまで372名を迎え入れ、現在、200名を超える人材が活躍しています。このEPA人材のほか、技能実習生、特定技能人材も在籍し、皆がグループにとって「なくてはならない戦力」となっています。

### 2020年は 入国に大幅の遅れ

しかし、2020年はコロナ禍により、EPA人材も技能実習生も、入国時期・就労開始時期ともに大きく遅れており、まだグループ内に迎えられたのは、ベトナムからの人材だけです。また、EPAの次年度受け入れのための現地合同説明会には、毎年、何人かのEPA介護福祉士が同行し、先輩として直接、候補者たちに健祥会グループの魅力を発信していました。母国でのこの活動は候補者たちにとっても楽しみなものでしたが、2020年の説明会はずべて中止となり、インターネット上に施設情報を開示してのマッチングとなりました。技能実習生についてもオンラインでの面接となりました。インドネシアから、フィリピンから、皆が一日も早く就労開始できるよう、待ち望んでいます。

### 全国トップクラスの 合格率

手探りで始まった日本語指導や国家試験対策指導も、10年以上経過した今では体系化され、支援体制として充実してきました。その結果、EPA人材の国家試験の合格率は日本人の合格率よりも高いものとなり、全国トップクラスを誇っています。しかし2020年は、日本語授業も、本部で実施している国家試験合同学習も、緊急事態宣言の発令を受け、オンラインでの実施と、何もかもが異例のこととなりました。

### 2019年度EPA 人材、介護福祉士国家 試験結果

37名受験26名合格（うち2名は特定技能として初受験・初合格のフィリピン人材）、合格率70・3%（全国のEPA人材の合格率44・5%）  
2021年1月31日の第33回介護福祉士国家試験は、42名が受験。ひとりでも多くが合格していきますように！  
3月26日が発表です。

### 安心して頑張れるよ う家族もサポート

2009年1月に初めて、EPA介護福祉士候補者を施設に迎えてから10年以上が経過。グループ内には資格取得支援はもちろん、一時帰国制度や家族支援、キャリア支援など、グループ独自の諸制度を設けています。介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を取得するなどキャリアを積む一方、家族を得て子育てしながらそれぞれの人生を歩む人材たち。日本に帰化したり、永住権を取得する人材も増えていきます（帰化4名/フィリピン、永住権取得2名/インドネシア、現在申請中5名）。すべての人材とその家族が安心して日本で定着できるように、継続してキャリア支援や家族支援に努めます。



RENEWAL  
OPEN!

## 健祥会グループ採用サイト リニューアルopenしました!

これまでグループホームページの中に設けられていた採用情報ページを大幅にリニューアルしました。サイトでは、様々な職種の若手職員にスポットを当てるとともに、健祥会グループの働きやすさをデータで示したり、福祉の仕事の魅力を伝えています。新卒の方、中途採用の方、様々な方にご覧いただき、ぜひ私たちの仲間になっていただけますように!

<https://www.kenshokai.group/recruitment/>





## よい人財に選ばれる職場であるために 素晴らしい職環境づくりを

働きやすい職場、健康経営への取り組み  
さまざまな機関から評価いただく

グループでは、数年来、ワークライフバランスの実現や健康経営、キャリアパスの構築、ダイバーシティの実践などに取り組み、誰もが未来を描き、働きがいを感じながら働き続けることのできる職環境づくりに力を注いできました。2020年度も各機関から様々な認証や表彰をいただいています。

「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の「くるみん認定」

社会福祉法人健祥会・社会福祉法人緑風会

仕事と子育てに関する「行動計画」を策定し、計画の目標を達成するとともに、一定の基準を満たしたことで、健祥会に続き、緑風会も認定されました。健祥会・緑風会ともに、●妊娠中の女性職員の健康管理への取り組み●産前産後休業や育児休業、育児休業給付、育児休業中の社会保険料免除などの制度の周知や情報提供●年次有給休暇の取得日数の目標達成●ノー残業デーの設定・実施による所定外労働の削減、などを実現しています。

経済産業省「健康経営優良法人2020」大規模法人部門での認定

社会福祉法人健祥会・社会福祉法人緑風会・社会福祉法人育英福祉会・社会福祉法人青嵐会

外国人財やパートも含む全職員の定期健康診断100%受診や全事業所ストレスチェックの実施、介護職員に多発する腰痛の予防検診、介護者の負担軽減のためのロボット導入、健康づくりのための「5つのストップ」4つのスタート」の呼びかけなどに取り組んでおり、健康維持に向けたグループ独自の対策の実施が評価されたものです。

全国健康保険協会（協会けんぽ）の「優良健康づくり事業所（金）」

社会福祉法人健祥会・社会福祉法人緑風会・社会福祉法人育英福祉会・社会福祉法人青嵐会・医療法人青嵐会

5法人が揃って「健康事業所宣言」を行い、健康経営を推進。健康診断とストレスチェックの実施、健康指導や

重症化の予防、禁煙対策、メンタルヘルス対策、運動推進、脱メタボ対策などに取り組む、職員の心身両面にわたる健康サポートが評価されました。

四国少子化対策推進委員会の「女性活躍・子育て支援リーディング企業表彰」最優秀賞

社会福祉法人健祥会

KIRARI WOMAN ネットワークの活動をはじめとした女性活躍支援と子育て支援、働きやすい職場づくり、キャリア形成のプログラム、U・イーターン支援、健康経営など、様々な取り組みが高く評価されました。

2021年1月21日（木）あわぎんホールで行われた表彰式とシンポジウムで、取り組みの発表の機会をいただいています。

取り組みの成果が認証や表彰として評価されていることを励みに、これに甘んじることなく、よい人財に選ばれる職場であるために、さらに取り組みをすすめてまいります。



「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の「くるみん認定」  
社会福祉法人健祥会・社会福祉法人緑風会



経済産業省「健康経営優良法人2020」  
大規模法人部門での認定  
・社会福祉法人健祥会  
・社会福祉法人緑風会  
・社会福祉法人育英福祉会  
・社会福祉法人青嵐会

# グループをあげてサービスの質を追求 ～私たちの大切な行動指針に沿って

## サービス力向上の実践と成果 オンラインで共有 「令和元年度年間取組発表会 決勝大会」

健祥会グループでは毎年、統一テーマに沿ってすべての高齢者施設と身体障害者施設がサービス力向上をめざした取り組みをすすめており、その実践と成果を報告し合う「年間取組発表会」が春の恒例行事となっています。

利用者様によりよい介護をお届けするために、また、現場の士気と意欲を高め、介護の楽しさ、やりがい、誇りを職員みんなで共有するために、本部経営戦略推進部と施設サービス力向上委員会、食・栄養向上委員会が主催しています。

令和元年度の統一テーマは、「その人らしさを支えるチームアプローチ」適切なアセスメントと目標設定です。

施設種別ごとに行われた5会場での予選を経て、参加51施設の中から勝ち残った8施設が競い合う「令和元年度年間取組発表会 決勝大会」。今年度はコロナ禍の中、感染拡大防止の観点から春の開催を見送り、6月4日、健祥会トウモロコーホールと8施設をTV会議で結んでのプレゼンテーション。さらに動画配信システムを活用し、その模様をリアルタイムでグループの56施設に中継する形で開催。白熱のプレゼンテーションを経て、以下の結果となりました。

ムでグループの56施設に中継する形で開催。白熱のプレゼンテーションを経て、以下の結果となりました。

取り組み内容は毎年進化しており、品質向上への大きな手応えを感じさせるものでした。もちろん甲乙つけ難く、審査に困るほど。しかしこの舞台が目標ではありません。取り組みの成果をしっかりと現場に生かすことこそ大切です。

理事長からは「1年間の取り組みに対して全職員に感謝するとともに、コロナ禍の中で開催にこぎつけてくれた担当部署の労もねぎらいたいと思います。今はまさに、変化への対応が問われているときであり、個の力を備えつつ、しっかりとチームとして連携することで、強い個、強い組織づくりに取り組み、その先の成長をめざしてくださることを期待します」と総評の言葉がありました。

令和2年度のテーマは「サービスの質の向上とメンバーシップ」の原点に立ち返り、今、私たちがやるべきこと」です。感染防止に最善の対策を講じつつ、さらに中身の濃い取り組みをめざして全施設で挑んでいます。

2020  
6/4(木)

### ●発表の部

#### 最優秀賞

・介護老人保健施設 マリアヌ(京都市右京区)  
「CSの追求 おばんさいと在宅復帰～ユニット型老健の原点へ」

#### 第2位

・障害者支援施設 健祥苑(徳島市応神町)  
「想いが創る明日～目標達成で得た自信」

・介護老人福祉施設 ふるさと那賀(那賀郡那賀町)  
「その人らしさを支えるケアで暮らしやすいユニットへ～睡眠分析から24時間シートへ」

### ●ポスターの部

#### 最優秀賞

・特別養護老人ホーム 緑風会イサバル(大阪府吹田市)

#### 第2位

・障害者支援施設 健祥苑(徳島市応神町)

#### 第3位

・介護老人福祉施設 ふるさと那賀(那賀郡那賀町)



もっと近しく  
もっとあたたかに  
居室担当者から  
「パートナー」へ

健祥会グループの高齢者施設で、これまでの「居室担当者」という事務的な呼称を「パートナー」に変更しました。この名称は、取り組み発表の中から生まれたもの。呼び方そのものからもぬくもりを感じていただき、あたたかな関係性をこれまで以上に大切に紡いでいこうという思いが込められています。利用者様やご家族、職員、それぞれの気持ちがあぐつと近くなることを願って。プロの技と家族の心で、高品質なケアとあたたかな日常のサポートをお届けいたします。



## 嬉しいね! 「にっこりホッと」

グループでは毎年「にっこりホッと推進月間」を設け、利用者様と職員、利用者様同士、職員同士、さまざまなふれあいのエピソードを募集しています。2020年、66の施設に設けられた「にっこりホッとBOX」には合計4096件の投稿が寄せられました。それぞれの施設で投稿を掲示し、みんなで「にっこりホッと」を楽しく共有しています。

■日向ぼっこをしている利用者様が笑顔で私に、「いつも職員さんありがとうって、太陽さんに向かって拝んでいるんですよ」

■「たくさん食べていただいていたことが」と私。「ごはんを食べてただけ喜んでくれてありがとう」と利用者様。こんな風に、何気ないあたたかなふれあいや胸が熱くなるような感動が施設にはあふれています。ありがとうございます。



# 支え合いつながり合うあたたかな地域でありますように

## 2020地域活動報告

2020 9/14(月)~28(月)



### ご長寿おめでとーうございませう 47施設で合同敬老会

9月21日は敬老の日。健祥会グループ各施設でも、ご長寿をお祝いする合同敬老会を14日から28日にわたって順次開催しました。コロナ禍が続く中、今年度は、ご家族や地域の方へご来賓の招待は控え、感染対策に細心の注意を払いながら、各施設内で小さく行いました。ご家族や地域の皆様にご列席いただけないことが寂しく、心苦しく、また例年のような賑わいや華やかさもありませんが、皆様がコロナなどに脅かされることなく、安らかな日々が送れますよう、なんとでもお守りしたいと職員一同思いを強くしながらの開催。どの施設でも、厨房職員の心づくしのお祝い膳を召し上がっていただき、職員手づくりのお祝い企画を楽しんでいただきました。合同敬老会スタート当時、高齢化率は10%程度でしたが、41年間で28.4%にまで伸びました。今年、100歳以上のご長寿の方が全国に8万450人。



初めて8万人を超えています。健祥会・緑風会の利用者様の総数は5932人、100歳以上の方が101人(徳島県74人/県外27人)。グループ利用者様の中での最高齢は107歳(当時)。老人保健施設ジャンボ緑風会の女性と、介護老人福祉施設ふるさと那賀の男性(徳島県男性最高齢者)のお二人でした。徳島県全体の100歳以上の方は579人(9月15日現在)ですから、このうちの6人にお一人が健祥会グループのサービスをご利用くださっていることになりました。本当に有難く、そして大きな責任を感じます。面会の中止やオンライン対応でご家族にはご不便をおかけしていますが、ご協力に感謝申し上げます。万全を期しています。



2020 11/11(水)



### もしもに正しく備えるために 新型コロナウイルス感染症 高齢者施設発生想定訓練

高齢者施設での新型コロナウイルス感染症発生に備える訓練が、徳島県の主催により、特別養護老人ホーム笑顔と専門学校健祥会学園を会場に実施されました。

徳島県保健福祉部長寿いきがい課と徳島保健所の職員の皆さんがお越しください。看護協会や他法人の施設職員の方々とともに、当グループからは人数を

限って、理事長中村太一ら本部役員、施設の感染予防対策やサービス継続に直接かかわる職員が参加しました。クラスター発生時の対応について専門家よりのご講義と図上実習のうち、特別養護老人ホーム笑顔でのクラスター

この学びをそれぞれが施設・ステージに持ち帰り、もしもに備えた対応にさらに万全を尽くしています。

発生を想定し、対応をシミュレーション。さらに実地検証を行いました。着脱や取り扱いが職員の大きな負担となる防護具についても、適切な使用と消毒の徹底による職員の負担軽減と安全な着脱の方法を教えてくださいました。

### 利用者様へ、職員へ 今年の介護の日は動画配信で

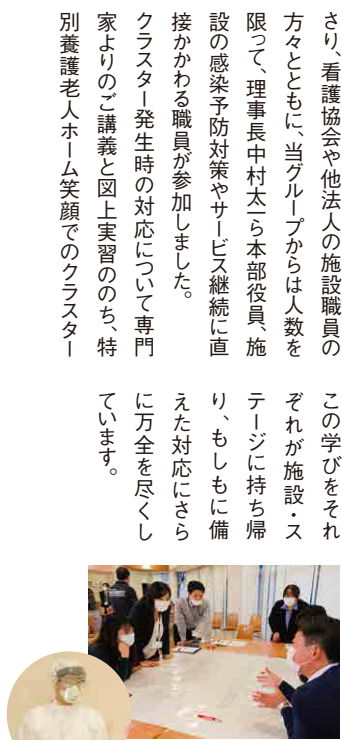
「11月11日」は、いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとー」と掲げ、介護への理解と地域社会における支え合いを広げることがめざす「介護の日」。今年度は「コロナ対策としてイベントなどは行わず、動画配信により開催しました。動画の内容は、専門学校健祥会学園・理学療法学科監修による職員のための腰痛予防の講座と体操。そして利用者様向けには、グループ内認定ことも園の園児たちの歌やお遊戯が、11日から15日まで5日間に渡って配信されました。

笑顔になりながら、いっしょに歌ったり、身振り手振りですてきな試みを楽しんでくださいました。職員にも、理学療法士の丁寧な指導が好評。学園とご園の協力で、グループならではの「介護の日」となりました。

利用者様はかわいい園児たちの様子に



2020 10/9(金)





# AN NETWORK

## — KIRARI WOMANネットワーク 2020活動レポート —

### コロナ禍でも踊りたい! リモートで阿波踊り開催

2020 8/12(水)

8月12日、徳島市国府町の健祥会トゥモロホールとグループ20施設をweb会議ツールで繋ぎ、ホールでは健祥会グループ連の職員たちがぞめぎのリズムを奏でます。それにあわせて施設では、利用者様、園児、そして職員、総勢210名が踊りました。初めて利用者様も参加し、一緒に踊ることができたのは、リモートだからこそ。踊る阿呆の威勢のいい様子を、香川、高知、大阪、京都、東京まで、グループ

健祥会グループでは、有志が阿波踊り連を結成し、1991年からずっと徳島市の栈敷に繰り出して踊ってきました。2020年はコロナ禍により、戦後初の全面中止となってしまいました。が、「やっぱり踊りたい!」「利用者様にも見ていただきたい!」との声を受け、KIRARI WOMANネットワークがリモート阿波踊りを企画しました。

全66施設に配信。コロナを乗り越え、どうか来年は開催できますようにとの願いを込めて、踊り子のメッセージも届けました。春以来、テレビ会議の運営に慣れてはきていたものの、多くの会場と繋ぎ、音楽を奏でて一斉に踊るといった試みには不安もいっぱいでしたが、アクシデントもなく、すべての会場が繋がりに参加者みな楽しんで踊ることができました。



リモート阿波踊り  
◀こちらから

### 今だからこそ上手に使おう!SNS! 入門セミナー開催

2020 7/21(火)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、以降、様々なイベントやセミナーが中止となり、職員の学びの場「KIRARI WOMANネットワーク」の活動も控えていましたが、気持ちを切り替え、「withコロナ」を念頭に恒例のKIRARIセミナーを再開。「こんなときだからこそ、今年ならではのセミナーを!」との思いで、「SNSでつながるコロナSNS入門セミナー」として企画。健祥会トゥモロホールを中央会場に、健祥会アンダシアと健祥会シェンブルンの3会場を繋ぎ、各会場で三密を避けて開催しました。入門に選んだのは、写真・動画投稿のInstagram(インスタグラム)。使い方とともに、安全に使うための注意点や上手に活用することの意義も教えていただきました。

リモート会場の参加者も、お話を聞きながら真剣にスマホと向き合い、今日初めてアプリをダウンロードしたという完全ビギナーも、投稿に成功してニコニコ顔。SNSの楽しさを感じた様子でした。まだまだ続く「withコロナ」の暮らしの中で、マナーを守り、プライバシーに配慮しながら、Instagramで繋がりを、素敵やびつくり、面白さや美しさなどを共有して楽しきましょう!



# KIRARI WOMAN

「KIRARI～ここで輝く、ひと、こと、しごと。」  
健祥会の魅力がぎゅっとつまったMAGAZINE発刊!

2020 11/11(水)



KIRARIマガジン  
◀ コチラから

健祥会グループ創立40周年と、職員の学びの場「KIRARI WOMAN ネットワーク」誕生5周年を記念して、小冊子「KIRARI」ここで輝く、ひと、こと、しごと。」を発刊しました。

発足から5年を経て、いぶん成長した「KIRARI WOMAN ネットワーク」メンバーが、企画、立案、デザインまですべてを担当。話し合いを重ね、試行錯誤しながらつくりあげたマガジンです。

ネットワークの活動をはじめ、グループの人財の魅力や、地域とのつながり、SDGsへの取り組みなどが紹介されています。

利用者様ご家族や地域の皆様はもちろん、就活生の方々やこれまで健祥会グループと縁のなかった皆様にもこの冊子を手にとっていただき、ちよっと違った一面からグループをのぞいていただけたら嬉しいです。



きらり輝く若手職員が中村晃子本部長を囲んで、仕事の魅力を語り合いました。



中村太一理事長もとてもラフな笑顔で登場です。



KIRARIのこれまでの活動を振り返ってみました。



いろんな職種の職員たちは趣味も多彩。ONとOFFの変身ぶりを取材しました。





# with コロナ



入り口にメッセージとともに検温器と消毒液を備え、食堂のテーブルにはアクリル板を設置しました。

新型コロナウイルス感染症発生に備える訓練では、対応をシミュレートしたり、防護具の扱い方を学んだり。限られた人数の参加となりましたが、真剣に学び、知見を施設へ持ち帰りました。



# not lose to コロナ

～2020を忘れない

健祥会だよりを最後までご覧いただきありがとうございます。毎年見てくださっている方々は今年の冊子のページ数が少し少ないことに気づかれたでしょうか？そうなんです。新型コロナウイルス感染症対策として、スポーツ大会もフォトコンテストも職員旅行も、振り返りたい様々な恒例イベントが中止になったためのページ数減です。

コロナ禍の中、施設行事も規模を縮小し、地域の皆様や利用者様のご家族にご参加いただくことが叶いませんでした。面会も緊急事態宣言に合わせて中止としたり、オンライン面会に切り替えたり。試行錯誤しながら、文字通り、with コロナ not lose to コロナ(コロナとともに・コロナに負けない)の1年でした。初めて遭遇する事態に、グループをあげて頑張ってきた2020年。健祥会グループのコロナ対策のあれこれをここに記録します。



園児たちも、毎朝きちんと家庭で検温した上で登園。保護者の見送りが玄関までとし、みんなでコロナに備えました。このコマは運動会の朝の様子です。



マスク不足が深刻化した頃、たくさんの方々からご寄付をいただき、とても助かりました。ご篤志をお寄せくださった皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。





介護の日には、動画を観ながら体操をしたり、保育園・認定こども園の園児からの歌やお遊戯を楽しんでいただきました。



ご家族との面会は、リモートで実施したり、アクリル板越しに短時間でもお顔を見ていただいたり。感染の拡大状況を勘案しながら臨機応変に対応しました。不安や寂しさもおありでしょうが、その分、より心を配りながら介護させていただいています。



専門学校健祥会学園でも早々とリモート授業をスタート。グループの研修や委員会もすべてリモートで実施しました。



阿波踊りの配信も、取り組み発表も、経営会議も、、、web配信の経験をたくさん積んで、裏方の技術力もアップしました。



2020年4月、入社式を取り締める企業も多かった中、健祥会グループは新入職員の大切な節目を祝いたいとの思いで、規模を縮小し、対策を講じて挙行。徳島新聞で一面トップに取り上げられました。

なんと  
**中国・四国で  
 最安に!**

※国公立大学除く 理学・作業療法士養成校で  
 2020.4.1現在 本学園調べ

初年度**40万円**  
**3年間で80万円の減額!**

	2020年度まで	2021年度入学生から
入学金	500,000円	<b>300,000円</b>
授業料(年間)	700,000円	<b>600,000円</b>
実習費(年間)	200,000円	<b>200,000円</b>
施設整備費(年間)	300,000円	<b>200,000円</b>

どんなにAIが進化しようとも、人にしかできない仕事。  
 自然災害や疫病など、社会の危機にはより必要とされる職種です。

**驚異の  
 求人倍率**  
(2019年度健祥会学園)

理学療法学科	<b>91.3倍</b>	作業療法学科	<b>100.7倍</b>
--------	--------------	--------	---------------

- 創立25年の伝統と実績があります。
- 大学並みの整った設備が自慢です。
- 経験豊富な手厚い教師陣、医師2名も常勤、万全の国家試験対策。
- 隣接する医療&介護施設が実践的な学びの場となります。
- 文部科学省「高等教育修学支援新制度」対象校です。
- 4学科とも文部科学省「職業実践専門課程」の認定を受けています。

**大授業料  
 大幅減額!!**

だから、

社会人OK!!  
 年齢問わず!!

時代が理学療法士  
 作業療法士を求めています!

**学生募集!**

- 中国・四国で最安 **理学療法学科** **作業療法学科**
- 徳島県内最安 **保育学科**
- 社会人なら学費無料の制度あり **介護福祉学科**

お問い合わせ  
**TEL.088-642-9810**  
 〒779-3105 徳島市国府町東高輪



※学園調べ

あなたを待ってる人がいる  
 あなたが輝く場所がある

**職員  
 募集中**



笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で  
 私たちといっしょに働きませんか?

誰かのためになる喜びとやりがいに満ちた福祉の仕事にチャレンジしてみませんか?  
 資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します!  
 福利厚生も充実。仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

介護しながら、子育てしながら、勤められます!

**正規職員・パート** 勤務地・勤務時間・給与 応談!

募集職種

介護職員・相談員・理学療法士・作業療法士・看護師・ケアマネジャー(介護支援  
 専門員)・管理栄養士・栄養士・調理員・保育教諭・訪問介護員 ほか

ご興味のある方は下記、または各施設までお気軽にお問合せください。

健祥会グループ本部  
**TEL.088-642-7522**



明日を想う  
**健祥会グループ**

健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356番地1  
 TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668



社会福祉法人 健祥会

社会福祉法人 健祥会  
 社会福祉法人 健祥会

はぐくみ支援を推進

仕事と介護の両立支援

福祉の未来を拓く